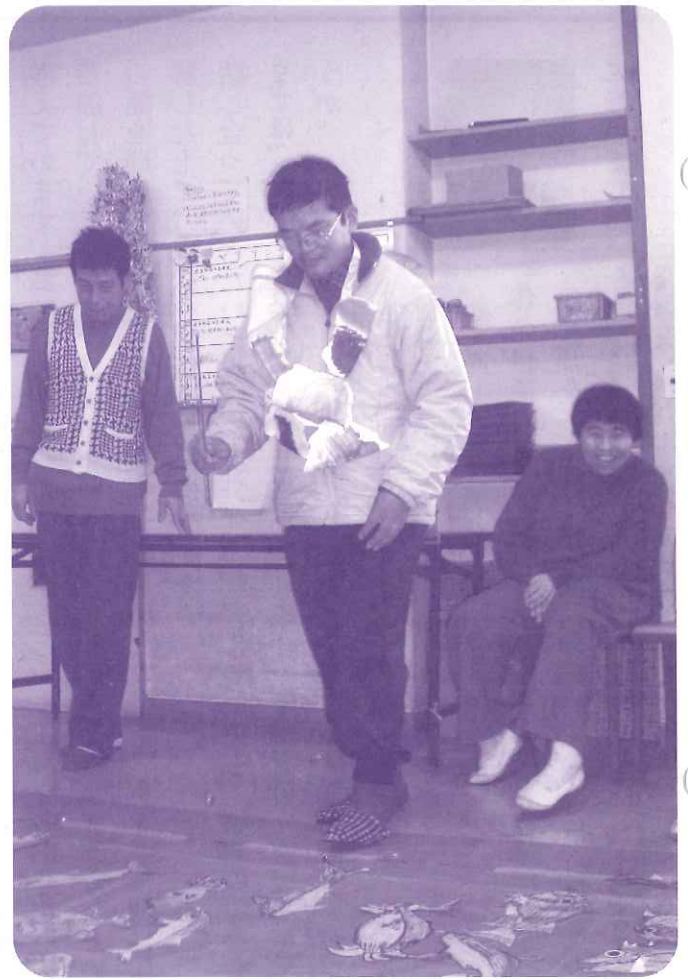


こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



新しく入ったなかまに首かざり。歓迎の意味もこめた自治会活動にて（こぶし作業所）

CONTENTS

- ① 特集『新春座談会』 2P～3P
- ② トピックス 4P～5P
- ③ 評議員から一言 4P～5P
- ④ ふれんどパーク 6P
- ⑤ こぶしサポーターズ 7P
- ⑥ アドレス・編集後記 8P

No.308

2007
1

新春座談会

特集



【出席者】 石川 泉 (こぶし作業所保護者会会長)
(敬称略・五十音順) 谷 博 之 (こぶし作業所後援会会長)
直井 信也 (けやき作業所利用者自治会会長)
矢口 圭子 (全国福祉保育労働組合こぶし分会分会長)
【進行】 高橋 温美 (こぶしの会常務理事)



【高橋】
皆さん、明けましておめでと
うございます。

今回は一月号の特集ということ
で昨年一年を振り返り、一九年度
こぶしの会をどんな方向にもって
いくかを話し合いたいと思います。

当事者主体の自治会、当事者と
法人両面を支える家族会、働く者
として主体性を発揮する労働組合、
そして地域でのその人らしい暮ら
しの実現を支える後援会は、こぶ
しの会を支える大切な四本柱だと
考えています。私は経営者として
参加していますが、今日はお互い
の話聞いてそれぞれの立場を理
解した上で、現状や課題を見つめ
話し合っていきたいと思えます。
まずは、直井さん近況はどうでしょ
うか。



【直井】
こぶしの会全
体の自治会役員
の会議を一月

に行いました。今回が第一回目

した。一回目だったのでこぶしの
会の歴史を話してもらいました。
こぶしの会がここまで大きくなる
には大変な苦労があったと話を
聞きました。そのあと、皆でがん
ばらなくちゃと確認しました。

私の考えとしてはこぶしの会の仲
間の交流をこれからどんどん話し
合って何かをやっていきたくと思
う。

障害者自立支援法に対しては、
これから役員と相談して、県に対
して要望書を出していきたいと思
う。トイレに行くだけでもお金が
かかるというこんなおかしな現状
は当事者が声をだして改善してい
かないと。仲間の声を県や国に伝
えたい。
学習についても、国連の障害者
権利条約や障害者自立支援法を学
んでいきたいと仲間から声が上が
っていました。

【石川】

こぶしの会の理念や目標に向かっ
て職員が働いていくことは大切な
ことだと思う。しかし、高すぎる

理念というものがあると地域に受
け入れてもらえないこともあると
思う。どうしたら受け入れてもら
えるかを考えることが大切だと思
う。具体的な手法を考えていかな
くてはならないと思う。

障害者自立支援法が施行されて
から施設運営が大変なのは私が見
ても良く分かります。法人として
の具体的な動きがもつと見えると
良いかなと思います。こぶしの会
に關係している人の力を集結して、
外に出していかなければならない
と思う。家族会としてもこれから
もつと力を合わせてやることも必
要だと思えます。



【矢口】
労働組合として
も法施行に伴い、
同僚の退職、給

料減、開所日の増など職員にも大
きな影響があった一年でした。た
だ、そんな中でもがんばっている
職員も大勢います。

こぶしの会の課題としては、職
員が展望を持って働ける環境・財

政にしていける経営努力が必要だと思えます。安心して働ける職場にしていきたいと思っています。

組合としては障害者自立支援法がその名の通りの法となるように、他の組織や地域の方々と連携をしながら大きな力をつくっていききたい。当面は組合員を増やしていきたい。共に闘う仲間を増やしていきたいと思います。



【石川】

職員の出入りが激しいのは、明るい展望が見えないというのが大きいのかも知れませんね。職員も厳しい立場に立たされている。「専門性」が今の法律で保たれるのか。支援の水準低下が心配になります。

わっています。あの頃の理念は「地域の中で作業をしていく」でした。自立支援法が施行されて今ほど厳しい状況はないと思います。自立支援法案が国会で通った時の当事者の方々の怒りや泣いている顔は今でもよく覚えています。次の通常国会では改正案を出したいと思っています。一割負担を凍結させること、地域格差をなんとかしたいと思っています。

【谷】

私は制度を変える立場と、こぶし作業所後援会という二つの立場から発言したいと思います。私は、こぶしの会が法人格をとるまえの日曜作業所のころからこぶしに関

わっています。あの頃の理念は「地域の中で作業をしていく」でした。自立支援法が施行されて今ほど厳しい状況はないと思います。自立支援法案が国会で通った時の当事者の方々の怒りや泣いている顔は今でもよく覚えています。次の通常国会では改正案を出したいと思っています。一割負担を凍結させること、地域格差をなんとかしたいと思っています。

後援会としての立場からはお金をどのように捻出するかが課題だと思えます。何をするにもお金がかかってしまうのが今の現状です。努力していかなくてはと思います。福祉の職場では男性が家庭を持って仕事をするにはあまりの低賃金です。「命を支える仕事なのに」。

【高橋】

四人の方からそれぞれ意見をいただきましたが、これからの活動についていかがですか。

【矢口】

障害者自立支援法が施行されて

から仕事量が増えて時間がなく集まる時間もとれないし、なかなか活動をしていけない。先ほどの直井さんのお話を聞いて自治会の行動力はすごいと思う。

【直井】

こんなときだからこそ、初心に帰ってがんばるしかない。

【矢口】

まずはていねいに職員の集団と仲間の集団をつくって、少しずつ大きくしていくことが大切だと思う。自立支援法の改善の為、地道に活動していきたい。



【谷】

自立支援法の問題はとて大 きなことだと私

たちは感じているが、当事者以外の関心がまだまだ小さいと感じます。諦めてはいけませんよ。

【高橋】

こぶしの会の三〇年は無駄では

【石川】

親達も高齢になってきている。自分のことの心配がでてきている。「大変、大変」と言っているばかりでなく、それをどうするかを考えていきたい。

【高橋】

それぞれの立場から力を強めていけば、こぶしの会の発展につながっていくでしょう。皆さん、今日はお疲れ様でした。



トピックス

けやき作業所

けやき作業所忘年会

今回のけやき作業所の忘年会は、昨年と比べてしまうと準備期間も短く地味な感じになってしまいましたが、仲間のみんなと年を忘れるには十分なものになっていたと思います。料理として出されたオードブルやケーキも皆さん喜んで食べられていました。忘年会のクライマックスは、高橋所長によるギター演奏会でした。みんな曲にあわせておおきな声で歌を歌いながら大きくこぶしを高く突き上げていました。



料理は各班で頑張りました



これが今年の歌いおさめ!?

こぶし作業所

魚釣りゲーム開催



いっぱい釣れたかな?

一二月一六日なかも自治会主催による魚釣りゲームを行いました。今回の自治会活動は、自治会役員と各作業班から一人ずつ選出された仲間と、企画・準備を行いました。餅つきなども企画の一つとしてあがっていましたが、最終的に「魚釣りゲーム」に決定しました。とにかく、今回の取り組みの特徴は、企画から当日の運営まで、ほとんどすべてを自分たちでやりきったことです。手描きの魚、海はブルーシートと、工夫されたアイデアがいっぱいでした(海釣りだったのです)。いよいよ自治会活動の始まりです。自治会役員の挨拶、新しく入所した仲間への歓迎等が行われ、その後魚釣りゲームがスタートしました。参加者もこれまでで最高の二八名もの多くの仲間が参加したため、六つの班に分かれ、魚の裏に書いてある点数の合計点を競いました。仲間たちは、少しでも多くの魚を釣ろうと、一生懸命、魚と格闘しました。途中、何度も仲間の竿同士が絡んだりするハプニングもありましたが、終始、仲間の笑顔や笑い声が絶えず、楽しい自治会活動になりました。

今回初めて自治会活動に参加したことは、仲間たちの笑顔

こぶしの会

評議員から一言

工藤 浩 喜 様

(ピアノ調律師 センター合唱団指揮者)



評議員をお受けしてから二期目になります。私の仕事は、ピアノ調律師が本業で、コンサートの企画や平和コンサート

トなどをとおして、平和の大切さなどを広めることを信念に今日まできました。評議員の構成には、文化の面から参加することかな?とも思いました。しかし、実際の評議員の役割は、こぶしの会の運営、財政などの適正や、運営のあり方などのチェック機関としてのことかなと思います。

評議員会の開催が通知されても、なかなか出席できずに心苦しく思っています。私とこぶしの会とのきっかけは、共作連(現きょうされん)の菅井真さん(現リサイクル洗びんセンター所長)が、こぶし作業所に勤務していた頃からですから少し古い話です。その頃、作業所の仲間は、自治会をつくり、一人ひとりの意見や苦情などをテーブルを囲んで話し合いをしていました。この作業所は、一人が大切にされているんだな、と感心して見守ってました。障害をもっても同じ働く仲

は人の心まで癒してくれるということです。普段の作業中の真剣な顔とは違い、楽しそうに活動する仲間の笑顔を見て、改めて職員になってよかった、そしてこれからも頑張ろうという気持ちになりました。

(新人職員からの感想でした)

セルブ・みらい

カワチに就職して

カワチに就職して三カ月がたったけど、週四日の勤務の中、毎日が忙しい日々であり、接客がはじめてだったので、戸惑い・不安・楽しみがあったけど、一番楽しいことは金、土の品だしが、やりがいある仕事だと思ってしまう気がする。商品の補充は大変だけど、食品、雑貨を前出し、補充の仕事をしています。

おかし、調味料が、一日八〜一〇箱を補充しながらカート、カゴ回収もやりながらお客様に聞かれたりすると案内ができるようになってきた。忙しいと自分の仕事が遅れたりしますが何事も前向きに、常に「BEST」を一日つくすことで少しは自信がついたかな?と思います。

(金子 峻)

ケアホームくるみ

夜遊びをしてきました

クリスマスも差し迫ったある日、みんなで食卓を囲みながら「クリスマスも近いし、みんな何かしようか?」となかまに聞きました。「くるみでパーティーをしようか?」、「どこかに食べにいきましょうか?」、いろいろと意見が出る中で、Uさんが考えた末に言いました。「音楽を演奏してくれるところに行きたい」全員が賛成し、市内の『ケントス』というバーに行くことになりました。

当日、仕事が終わってから、皆で心を躍らせながら店に向かうと、店内は薄暗くムードは満点!ステージ上にある数々の楽器や、カウンターに並ぶお酒のビンを眺めながら、いつも行くお店と違う雰囲気、期待は膨らむ一方です。

そんな中、ついにバンドのメンバーが出てきて、ライブが始まりました。会話もできない程の迫力のある音と演奏に、最初は少し戸惑い気味のなかまもいて少々心配でしたが、慣れてくるとノリノリで踊りだす方もおり、とても楽しいひとときでした。

帰りの車内では余韻に浸りながら「また来ようね!」との声が全員から聞かれ、しばらく経った今でも、なかまたちは次に行く日を楽しみにしているようです。

(ちなみにこのバーは若き頃のUさんのお気に入りのお店でした)



間として尊重されていることをどれほど尊く感じたことか。この施設を利用できる仲間を誇りに思いました。その頃は、こぶしまつりなどで、センター合唱団も演奏依頼などで出かけて、仲間と一緒に歌を歌ったこともありました。今は亡き歌手の川島英悟さんのコンサートと一緒にステージに登ったことが思い出されます。

しかし、今の福祉行政を見ると、そんなゆとりさえなくなっているように感じます。自立支援法などで、施設自体の存続すら危機にさらされています。国の差別政策による、貧しきものはさらに貧しく、福祉の切り捨てで、富める企業にはさらに恩恵を与えて逆立ちの政治を進めています。政治は、弱き人のために、貧しき人のためにこそ光を当てるのが仕事のはず。評議員を受けたものの、何もできない自分の力なさを感じています。じっとしているだけでは解決しない。政治に目を向け、逆立ちした今の状況に苦言を呈しようと思う。安倍内閣は、憲法を変えて戦争ができる国にするという。九条を変えろと。とんでもないことだ。今ですら福祉予算が削られているのに、軍事費が大きくなれば福祉にまわる予算はなくなるのだ。評議員としても、この動きは注視していきたい。文化の光輝く時代にしてこそ生きる喜びと、生きる勇氣、仲間とともに地域社会と一緒に生きてこそ人間社会の基礎が築かれることと思う。福祉予算の増額を願い、がんばれこぶしの仲間。

2007年！^{しんねん} 新年の抱負^{ほうふ}



はつもうで by セルフ・みらい

★夏に向かって5キロくらいやせる。いっぱい汗をかいて、スマートになりたいです。

(こぼし作業所 田村久仁子)

★いっぱい歩きます。めんどうがらずにおぶろにはいります。

(こぼし作業所 池田善穂)

★2月から障害年金が入って、仕事日数が4日になって弁当班の仕事をがんばりたい。

(セルフ・みらい 竹村達夫)

★今年も下請け班で箱折りをがんばりたい。自分の中で、したいこと、目標があるので、それを達成できるように、がんばりたい。

(セルフ・みらい 林由美子)

ふれんど
パーク

★私はいつか第2けやき作業所にいけるように、先輩の利用者さんの言うことを良く聞いてがんばります。早番の日はみんなより早く帰るけれど、遅番の日は、午前中の盛付けのほか午後のおそうじもがんばります。

(けやき作業所・弁当班 水沼のぞみ)

★自分の好きなこの手で何ができるかを考えました。食べることは大切です。そのために仕事することも大切です。ですから、今年もひとつひとつを大切にし、自分の手で行っていけるようにがんばりたいです！

(第2けやき作業所 菅山正男)

★新しい年になり、決意を決めました。ライフサポートセンター真岡に毎日通い、規則正しい生活を送り精神的に強くなりたいと思いました。そして仲間の人と仲良くなり、淋しさをなくしたいと思います。

(県東ライフサポートセンター真岡 Y. E)

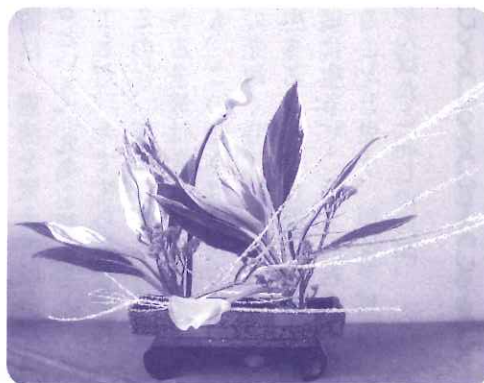
ポルトガル語こうざ⑥



トゥラバーリョ
trabalho
(しごと)



フェリアード
feriado
きゅうじつ
(休日)



こぶし Supporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強かにバックアップします ～

新しい年にあたって けやき作業所

明けましておめでとうございます。

旧年に開かれた後援会総会の会議資料を拝見し、「作業所」の困苦、特に「なかまたち」と「職員」の皆様の苦難の様子を知ることができました。

私たち「後援会」が何をすべきなのかは分かっていたつもりでしたが、自立支援法の影響がこれほどまでに悪い作用をしていることを知り、怒りさえ覚えました。これからは真に皆様から頼られる後援会活動をしなければならないことを痛感いたしました。そのために、平成19年度の最重点項目として以下の3点を掲げて活動したいと考えています。①地域社会から愛される存在になること。そのためには地域での各種行事等に積極的に参加する。②「なかまたち」のパワーを生かし、販売品目、販売回数及び販売機会の場を増やしたい。③町内外の諸団体や諸企業に積極的に働きかけを行い、会員数(団体・個人)を増やしたい。

「なかまたち」「職員」そして「保護者を含む後援会会員」が一体となって、「明るく、楽しいけやき作業所」を目指しましょう。
けやき作業所等後援会長 福田 貞夫

12月びっくり市 こぶし作業所

昨年の12月24日(日)問屋町で行われたびっくり市に参加しました。普段は1スペースのみを利用しているのですが、今回は2スペースを利用しての参加となりました。そのため、普段よりも多くの品物を持って行ったのですが、途中で品物がなくなってしまいこぶし作業所に取りに戻ることもあるほどの盛況ぶりでした。また、びっくり市には車で来場されるお客様が多かったので、チャリティバザーでは敬遠されていた大きな置物も飛ぶように売れていきました。

今回は、ボランティアと保護者の方が大勢参加してくださいました。おかげで売上もこれまでのびっくり市の中でもかなりの売上となりました(総売り上げ¥60,320、純利益:¥51,380)。

今後もこぶし作業所を支えていくためにびっくり市への参加をしていきたいと思えます。

セルフ・みらい支援ひろがれコンサート とりづか+こまつコンサート

●日時

2007年3月31日(土曜日)

開場 午後1:00 開演 午後1:30

第1部

みらいの仲間たちのステージ「みらいからのメッセージ」

第2部

「とりづか+こまつ」のコンサート「とりづか+こまつ」紹介

「ワイルドワズ」の鳥塚しげきと「ヴィレッジ・シンガーズ」の小松久が、北原照久(ブリキの博物館館長・お宝鑑定団鑑定士)のプロデュースにより結成したユニット

※鳥塚しげきさんは、2001年“ひろがれコンサートPart1”にご出演いただきました。

●会場 真岡市民会館大ホール

●入場料(消費税込み)

一般 3,000円 小人・障害者 1,000円
ペアチケット 5,000円(先着100組)

●プレイガイド

*セルフ・みらい *チケットピア真岡店
好評発売中

●主催/お問い合わせ

セルフ・みらい後援会「みらいの会」

〒321-4363 真岡市亀山1043-23

社会就労センター「セルフ・みらい」内

電話番号 0285-81-1155

FAX番号 0285-81-1177

社会福祉法人
こぶしの会

- **こぶし作業所** ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- **こぶし作業所生活支援センター**
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 028 (613) 5703
- **こぶしのときわ荘** ☎321-3235 栃木県宇都宮市鎗山町字東原146-7
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (667) 5531
- **く る み** ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0414
- **けやき作業所** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・知的障害者通所授産施設
 ・指定生活介護事業
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 法 人 事 務 局**
- **第2けやき作業所** ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・指定就労移行支援事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- **芳賀地区障害児者相談支援センター** ☎321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
- **地域活動支援センター** ☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 「県東ライフサポートセンター・真岡」
 ・在宅障害(児)者の相談・就労支援
 「県東ライフサポートセンター・ほっとCHA」
 ・在宅障害(児)者の相談
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
- **すずらんの家** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
 ・知的障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 4430
- **けやきハイツ** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2876
- **第2けやきホーム** ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0776
- **セルプ・みらい** ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- **ぼ て っ と** ☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
 ・知的障害者グループホーム

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間8:30~17:00)

編集後記

あけましておめでとうございます。去年の5月より、こぶしだよりがリニューアルされて8ヶ月。1月号はいかがでしたでしょうか。

これからも、内容の充実したこぶしだよりをお届けしたいと思っております。ただ残念なのは、皆さまの声なかなか聞こえてこないことです。ご意見・ご感想お待ちしております。今年もどうぞよろしくお願い致します。(枝)

編集委員

田澤 幸子 枝 雅紀 廣本 佳奈子 鈴木 美輝

発行所 郵便番号 257-0853

特定 東京都世田谷区砧六-二六-二一
 公益活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円